

## WhatsUp Gold を導入したバーク郡 アプリケーション・パフォーマンスの 根本的な問題を数分で検出



### バーク郡の概要:

- › 1777年にバーク郡として誕生
- › 23 町区、515 平方マイル
- › 人口約9万人

### ネットワーク環境:

- › 40 のネットワークスイッチがある、すべて Cisco のネットワーク・インフラ
- › 6 つのロケーションそれぞれに、ファイバー・リンクがある Cisco IOS NetFlow
- › 40 サーバー

### 課題:

- › Microsoft SQL Server と Exchange アプリケーションに慢性的な速度低下が生じ、次第に顕著に。原因を検出するのに何時間もかかって、ユーザーの生産性が悪化するとともに、IT部門のスタッフも長時間を費やさざるを得ず、問題は深刻化。

### 検討された対策:

- › Cisco の LAN 管理製品
- › よく知られたネットワーク監視ソリューション
- › イプスイッチの WhatsUp Gold とそれに統合されたアプリケーション・パフォーマンス・モニタ

### バーク郡の選択:

- › イプスイッチの WhatsUp Gold とアプリケーション・パフォーマンス・モニタ

### 結果:

- › 何時間、何日の単位ではなく、数分で問題が解決
- › 単一ダッシュボードから管理できるインターフェイスでネットワーク全体とアプリケーションの監視が簡単に

ノースカロライナ州西部にあるバーク郡は、515平方マイルの豊かな自然が残された地域であり、雄大なテーブルロックが特に人目をひくシンボルになっています。23町区の9万人以上の住民へのサービスは、IT管理者であるスティーブ・ベネット氏の選択にかかっています。ベネット氏は、郡の司法サービスなどの重要サービス、一般の事務的サービス、緊急サービスなど、様々な業務が滞りなく処理されるようにする責務を負っています。

### 困難な課題: 慢性的なアプリケーションの速度低下

ITサービスは基本的に、郡庁所在地のモーガントンを本拠地とする Cisco システム環境とファイバーでリンクされる6つのロケーションに提供されます。本拠地のスイッチに加え、ロケーションごとに3から4のスイッチがあります。郡の全地域で使われている Windows のアプリケーションを含め、約40のサーバーへのアクセスを高いレベルに保つ目的もあって、Cisco IOS NetFlow を使っています。

最近までITサービスは順調に機能していたのですが、時間の経過に伴い、Microsoft SQL Server と Exchange Server のアプリケーションが慢性的な速度低下に見舞われるようになり、やがてバーク郡としてのサービスに悪影響を与え始めるまでになりました。

「Exchange の動作速度が落ちて、動作している間に速度低下の根本原因を究明することは困難でした。」とベネット氏は説明します。「それで、たいていサーバーをリポートしなければならず、リポートすればユーザーに悪影響が及びます。やがて、問題はサーバーにあるのではなく、何か別の原因が速度低下を引き起こしているらしいとわかりました。」

### より良いツールを求めて

ベネット氏は、Cisco 環境の一部としてすでに使用していたツールに頼るのではなく、もっと良い問題解決ツールを探すべきときが来たかと判断しました。「すべてのアプリケーションを単一画面から監視できるシステムを必要としていました。」とベネット氏は話します。ベネット氏と彼のチームは、いくつかの異なるベンダーと話しましたが、最終的には WhatsUp Gold とそれに統合されたアプリケーション・パフォーマンス・モニタを導入することにしました。

Cisco の LAN 管理製品は、ネットワーク環境に焦点を合わせていて、アプリケーションの可用性の監視は行いません。また、サーバープラットフォーム監視ソフトウェアはサーバーを入出力の観点からチェックするだけで、それ自身の内部にあるアプリケーションを監視する設定にはなっていません。もっと良いツールの探求が続きました。

「私たちは WhatsUp Gold によく似たネットワーク監視製品も調べました。」とベネット氏は言います。「ですが、その製品のライセンスはポート対ポートについてのものでした。1つか2つのサーバーを監視するだけならそのライセンス料は問題ありませんが、私たちは40以上のサーバーと40のネットワーク・スイッチを持つ



ています。24ポートがある1つのスイッチに対して24のライセンスが必要となり、この製品はコスト的に導入不可能でした。その上、この会社はオペレーション・システムごとにライセンス料を課す(各NIOCごとにライセンスが必要)ので、コストはもっと引き上がります。」

綿密な評価を行った上で、ベネット氏は最終的に WhatsUp Gold とそれに統合されたアプリケーション・パフォーマンス・モニタ (APM) を購入する決定を下しました。選択の理由は以下の通りです：

- ▶ WhatsUp Gold と APMには他製品が追加費用をチャージするような多くの機能がすでに統合されています。ライセンス料はデバイスごとで、ポートごとにはありません。
- ▶ Cisco が イプスイッチ社を推薦しました。
- ▶ ネットワーク全体をコントロールするには単一ダッシュボードからの管理が便利です。
- ▶ Cisco Call Managerをサポートするので、電話会社かネットワークが追跡できる通話途切れのような問題をチェックするために Cisco Call Manager の内部から常時APMを使うことができます。

「すべてのアプリケーションを単一画面から監視できるシステムを必要としていました。APMを使うと複数のアプリケーションを走らせる複数のサーバーをチェックでき、どのアプリケーションが問題を起こしているか一見して判定できます。」

- スティーブ・ベネット氏  
バーク郡のIT管理者

## APMを使うと問題はより速やかに解決

この事例に出てきた Exchange Server の速度低下のような問題が生じた場合、APMを使うことによって、ベネット氏と彼のグループはずっと迅速に対処できるようになりました。「この場合でしたら、APMは速度低下がIISの問題によって生じていると教えてくれるかも知れません。それならそれをリセットすればサービス・レベルは通常の状態に復帰するでしょう。もし、サーバーに問題があったとしても、緊急リポートして全ユーザーに迷惑をかけるほど深刻な問題でなければ、あまりユーザーがアクセスしない時間を選んでリポートするようスケジュールすることも可能です。」

APMを予防メンテナンスツールとして使うと、SQL Server の速度低下はもっと速やかに解決することができます。ベネット氏と彼のチームは、読みやすいグラフを見て状況をチェックすることができます。また、オーバーヒートしているCPU、事前設定されたしきい値を超えたディスクスペース使用率、60%を超えるCPUプロセスなどの問題は、自動アラートによって警告され重要事態と認知できます。「週に複数回データベースを削除するようなSQL サーバーがあればそのサーバーにAPMを設置し、どの問題がそのSQLデータベースに影響を与えているかを見ることができます。サーバー・ディスクやメモリの使用率のようなものも見るすることができます。恐らく、問題を起こしている特定のサービスがあるはずで、APMを使うと複数のアプリケーションを走らせている複数のサーバーをチェックでき、どのアプリケーションが問題を起こしているか一見して判定できます。」

## イプスイッチについて

イプスイッチのIT管理ソフトウェアは、複雑化するIT環境を中断させることなく運用するという重責を担うIT部門に、業務トランザクション、アプリケーション、インフラストラクチャを高い安全性でコントロールするためのツールを提供します。高機能で柔軟性に富み、簡単に試用できる大変使いやすいソフトウェアです。クラウド、仮想環境、ネットワーク環境での途切れないパフォーマンスでIT部門を支援します。世界100カ国以上でネットワーク、アプリケーション、サーバーを監視するために、そしてシステム、パートナー会社、顧客との間のファイル転送のために、世界中の多くのお客様から信頼を得ています。マサチューセッツ州の本社のほか、米国各地、ヨーロッパ、アジア、中南米に拠点があります。詳しくはホームページ、<https://jp.ipswitch.com/> をご覧ください。

無料試用版をお試しください：<https://jp.ipswitch.com/forms/free-trials/whatsup-gold>